

曾於市 Soo CITY 話題の広場 Topics

みんなの水辺サポート



7月10日、末吉の森田橋から浜田橋(マインドロード)までの間の河川敷を新町自治会と末吉の建設業協同組合の皆さんが、ボランティアで草払い等の清掃を行いました。

当日は、強い雨の降りしきる中、新町自治会や同組合から総勢約70人が参加して、持ち寄った草刈り機などで手際よく草払いやゴミ拾いなどが行われました。作業終了後は、天気もすっかり良くなり、すっきりとした河川敷がよみがえっていました。

同組合副会長の宮尾克秀さんは「地元への恩返し」と思い、地域貢献活動や河川愛護活動の一環として取り組みました。今後もこの活動を続けていきたい」と話されました。

七夕コンサート 2009 in 中谷



7月12日、メセナ楽団主催の「七夕コンサート 2009 in 中谷」が財部町中谷地区体育館で開催されました。

このコンサートは、メセナ楽団が各地域に出向いて地域の皆様に吹奏楽の楽しさを知って頂きたいと、曾於市合併後、初めて計画したものです。

第1回目は、中谷むらづくり委員会の共催を得て、広報や当日の運営にも携わって頂き、地域と一体となったコンサートとなりました。

当日は、中谷地区住民の半数約200人の来場者があり、時代劇メドレーやトトロ・ファンタジーなど1時間あまりの演奏で夏の一夜を楽しんだようです。

よみがえった遊具達



7月28日、大隅の大隅南小学校で、曾於市塗装会の皆さんが鉄棒やうんてい等校庭の遊具の塗り替え作業をボランティアで行いました。

同会は、市内で塗装業を営む6社の皆さんが加盟し、地域貢献活動の一環として毎年行われているものです。

これまで塗装会では、月野小学校、財部小学校、深川小でもボランティア作業を行い、今年は大隅南小学校で実施。鉄棒やジャングルジムが手際よく次々に塗り替えられていくと、新品同様によみがえっていました。

会長の新留国弘さんは「今後も市内の学校を中心にボランティア作業を行いながら、地域に貢献していきたい」と話されました。

図書館まつり 本に親しむきっかけに



7月25日、曾於市立図書館本館（末吉）で図書館まつりが開催されました。

当日は、多くの親子連れが図書館を訪れ、読み聞かせグループ「ちゃいはな&バンビーノ」のお話しやたのしいフルート演奏会（小原瑠美子さん・本田律子さん）の他、鹿児島県立博物館の大屋哲先生をお招きし、おしばなを使った本のしおりづくりが行われました。また、会場には、ブックリサイクルコーナーやプレゼントコーナーなどもあり、子ども達からは大歓声が沸き上がっていました。

この図書館まつりがきっかけで、たくさん子ども達ももっと本に親しんでくれればいいですね。

自転車盗難防止ワイヤー錠 贈呈



7月28日、曾於警察署で自転車盗難防止ワイヤー錠贈呈式がありました。

このワイヤー贈呈は、鹿児島銀行が社会貢献の一環として行ったもので、市内6中学校の生徒に4000個の盗難防止ワイヤーを贈りました。

県内では鹿児島市などを中心に自転車の盗難が増加傾向にあり、盗まれた自転車が次の犯罪に使用されるケースもあるそうです。

贈呈された曾於市内の中学生を代表して、大隅中学校の葛原祐美さんと大堀湧斗君で、「中学生らしくしっかり勉強をして社会に恩返しをしていきたい。」とお礼を述べていました。

一漕ぎ一漕ぎ 力を込めて



稀に見るデットヒート
(マイッチング末吉チーム VS 末吉町青年団チーム)

8月2日大淀川特設カヌー会場(末吉町深川熊野神社近く)で曾於市カヌー大会が開催されました。

当日は、快晴の絶好のコンディションの中、フラットレーシングの部に小学生98名、ドラゴンボートの部に18チーム(180名)の方々が参加されました。

レース前には末吉町岩南出身で、数々の大会で輝かしい成績を収めている中山景子さんのデモンストレーションがあり、あまりに速いスピードと巧みな技に会場からは歓声が上がっていました。

ドラゴンボートのレース結果は、男子優勝「侍士 岩南チーム」、女子優勝「レインボーレディースチーム」でそれぞれ県民体育大会に出場する予定です。

フラットレーシングに参加した深川小の長野聖くんは、「難しかったけど楽しかった。今回は2番だったけど来年はもっと練習して1番になります」と力強く元気に答えてくれました。

大川原峡で清流祭りを開催



8月2日、大川原峡キャンプ場で清流祭りが開催されました。この祭りは、ヤマメの放流やつかみ取りをしながら、大川原峡の素晴らしい自然や景観を満喫してもらおうと毎年開催しています。

当日は、財部地区の曾於市レディーの福本さんや観光協会関係者等でヤマメの放流を行った後、ヤマメのつかみ取りがスタート。河川に特設した柵の中へ次々とヤマメが入れられるとわれ先にと人々が群がり大歓声が沸き起こっていました。

加治木町からお爺ちゃんと一緒に参加してくれた重郁也君は、「ヤマメは動きが早くてぬるぬるしていたけど、軍手を準備してたので何とかつかまえることができました。このイベントはとても楽しいので、来年もまた参加したい」と笑顔で話してくれました。

ドイツ人留学生表敬訪問



7月30日、日独スポーツ少年団交流事業に参加したドイツ人留学生9人が市長を表敬訪問しました。

この事業は、たくさんのスポーツ交流やホームステイをしながら日独の親善を深めていく事を目的とする事業です。留学生達は、皆スポーツに励む10代後半の若者達で7月25日に大崎町に到着し、30日まで曾於地区に滞在し、その後都城・北諸地区や大分県佐伯市などを訪問したようです。

曾於市では、弓道やカヌー体験、歴史民族資料館などの見学をしました。

挨拶の中で、皆「ホストファミリーの気遣いや暖かい気持ちに触れ本当に感動しています」と口々に話してくれました。

この交流事業をきっかけに若者達が日本を好きになり、再び曾於市を訪れてくれればいいですね。

先人の偉大さを肌で感じる



8月1日、末吉町高松ずい道探検ツアーが開催されました。

このイベントは、高松開田百周年記念行事や水土里活動の一環で開催されたもので、地域の住民や子ども達に高松水田がどの様に通水されているのかや自然環境などを体験し、理解してもらうことを目的に開催されたものです。

全長4キロの行程を約100名の方々がそれぞれのペースで自然を満喫しながら歩いていました。

このイベントに参加された西部公民館の育成会長の諸留利幸さんは「先人の方々の汗と涙、偉大さを肌で感じる事が出来て本当に感動しました。こんな貴重な体験はめったにすることができません。もっとたくさんの子供達に体験してもらいたい。」とおっしゃっていました。

あの感動 再びよみがえる



8月2日、曾於市末吉総合センターで吉俣良フレンズアコースティックコンサートが開催されました。

コンサートでは、吉俣良さんのほかテレビドラマで大活躍の時任三郎さんや曾於市でもお馴染みの喜界島の兄弟デュオ dokidoki さんもコンサートに花を添えました。時任さんとの掛け合いには、会場からも笑いが起こっていました。dokidoki さんのミニコンサートではテレビコマーシャルで流れているなど聞きなれた曲ばかりで、会場からは一緒に口づさんでいる姿も見られ、大変盛り上がっていました。

そしてコンサート終盤、鹿児島では40%を超えたとも言われるあの「篤姫」の挿入曲やテーマ曲などが演奏されると会場からは感動が再びよみがえってきたかのごとく歓声が沸きあがっていました。いつの間にか吉俣良さんの音楽の世界に会場全体が包まれていました。

緊張しました 財部中学校生徒会図書部



8月3日、財部中学校生徒会図書部の皆さん11名と先生2名が、しゃら幼稚園を訪れ読み聞かせボランティア活動をしました。

図書部の生徒さん達は、幼稚園のお友達が怖がらないように家から持ってきたエプロンを身につけ、手作り紙芝居やビック絵本などを6つの題材を読み聞かせしました。

子供達は、かねてのしつけが行き届いているせいか、みんな目をくりくりさせながら、真剣に聞き入っていました。

図書部部長の川路啓太君は、「初めてのボランティア訪問だったので、大変緊張しましたが、園児さん達が静かに真剣に聞いてくれて良かったと思います。」と話してくれました。

さらなる防犯対策のために



7月30日、曾於市立図書館2階会議室で、曾於地区金融機関等防犯連絡協議会の総会と研修会が開催されました。

総会では、同協議会の活動内容や計画等の報告、承認などのあと、振り込み詐欺の現状や強盗に対するポイントなどの防犯対策の研修をされました。

その後、南日本銀行末吉支店で曾於警察署員が扮する強盗の対応訓練を実施。実際に強盗が襲ったかのような迫真の演技の中、犯人の特徴や服装などを確認して、警察署に通報するまでの一連の訓練が行われました。

南日本銀行の川口守克次長は「訓練と分かってはいたが迫力ある演技でとても怖かった。何もする事が出来なかったが、この訓練をきっかけに今後警察と連携しながら、防犯意識を高めていきたい。それが抑止力になれば」とおっしゃっていました。

マトヤ技研 優秀賞受賞



8月12日、マトヤ技研の益留福一さんが第3回ものづくり日本大賞優秀賞に選ばれたことから池田市長を表敬訪問されました。

ものづくり大賞は、日本の文化や産業を支えてきた「ものづくり」を新しい時代に継承・発展させていくため、その最前線で活躍している人達を表彰し、広く世の中に伝えるために創設された賞です。

鹿児島県からは益留さんが一人だけの受賞で、これまで手作業だった豚の肋骨のはく離・除骨を機械化。衛生的な処理や生産効率の向上、労力削減につなげたことを評価されての受賞です。

益留さんは、「このような賞を頂き本当に励みになります。今後も畜産業の発展のために少しでも寄与できれば良いと思います。」とおっしゃっていました。

とっても綺麗になりました



7月30日、曾於市火葬場下のり面や住吉神社階段脇を末吉町の稲留建設の皆さんがボランティアで草払い等の清掃を行いました。

当日は、真夏の暑さがとても厳しい天候で、重機を巧みに操作しながら、人の手ではなかなか刈れない場所を汗をどっぴりかきながら一生懸命作業をされていました。作業が終わると現場は、見違えるようにきれいに生まれ変わっていました。

同社の専務取締役の稲留辰美さんは、「作業が終わるととてもすがすがしい気分になりました。今後もこういった活動を続けて少しでも社会に貢献していきたい」とおっしゃっていました。